

“青年が動く！”

マレーシア [ASJ×CFF] 青年 NGO ツアー

－ 熱帯林とわたしたちのつながり －

申込前資料

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN

特定非営利活動法人 ケアリングフォーザフューチャーファンデーションジャパン



【目次】

- ① ツアーの目的・開催概要**
- ② 主催団体の紹介**
- ③ ツアー行程表**
- ④ 主要訪問地の紹介**
- ⑤ ツアーについての詳細**
- ⑥ 安全面・保険加入のこと**
- ⑦ 航空券の取得、当日集合場所について**
- ⑧ 参加申込みについて**

① このツアーって？ ツアーの目的・開催概要

ASJ×CFF

オランウータンに代表される多様性豊かな大自然を育む東マレーシア・ボルネオ島。

一方で、世界の森林は1年間で平均 1,300 万ヘクタール減少していると言われています（出典:FAR2010/1 日山手線約 6 周分）。また、豊かな自然と現地の人々の生活は脅かされています。

日本に暮らすわたしたちも、この事実と無関係ではありません。わたしたちが普段何気なく使っているシャンプーや石鹸・様々な食品・紙など、便利で豊かな生活。ボルネオ島の自然と日本の生活には密接なつながりがあるのです。

それでは、わたしたちの豊かな生活がどのように影響を及ぼしているのでしょうか。

本ツアーでは、実際の現場を訪問し、日本で暮らす私たち「青年」だからこそできることを見つけ、動き出します。

ツアー名称	“青年が動く！”マレーシア [ASJ×CFF] 青年 NGO ツアー － 熱帯林とわたしたちのつながり －
日 程	2012 年 11 月 1 日(木)～11 月 6 日 (火) (5泊6日) ※ただしリーダー搭乗便は 10/31 夜出国
場 所	マレーシア（ボルネオ島）サラワク州
内 容	・土地の保護活動を行う地元 NGO の活動見学 ・先住民族の村訪問、ホームステイ ・パームオイルの開発地と会社訪問 ・ダムサイト訪問と地元住民との交流 ・行政が行っているごみ減量活動地見学 等
参加費	60,000円 ・参加費には現地滞在時の費用（ツアー期間中の宿泊費、食費、現地交通費、プログラム費等）が含まれます。パスポート取得の費用、マレーシア日本往復航空券、空港使用税、海外旅行保険は含まれません。ご自身での取得をお願いします。 ・ツアーの参加には主催団体いずれかの会員である必要があります。未会員の方は参加費の他に別途年会費が必要です。
参加資格	・18 歳以上の健康な方 ※定員に達し次第締切ります。 ・ツアー趣旨および主催団体の活動趣旨に賛同される方
定 員	15 人程度
主 催	国際青年環境 NGO A SEED JAPAN 特定非営利活動法人 ケアリングフォーザ・フューチャーファンデーションジャパン
お問い合わせ先	マレーシア [ASJ×CFF] 青年 NGO ツアー運営事務局 A SEED JAPAN 事務局内 住所：〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-23 TEL：03-5366-7484 FAX：03-3341-6030 Eメール info@aseed.org

(1) 「A SEED JAPAN」と「CFF」、2つの団体による企画

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN（以下、ASJ）は、1992年にブラジルで開催された「地球サミット（国連環境開発会議）」に向けて、その前年 1991 年に設立された日本の青年による国際環境 NGO です。ASJ は国境を越えた環境問題とその中に含まれる社会的な不公正に注目し、より持続可能で公正な社会を実現するため、未来の世代を担う青年自らが行動を起こしています。

特定非営利活動法人 ケアリングフォーザフューチャーファンデーションジャパン（以下、CFF）は、世界の厳しい立場におかれた「子どもたちの支援」と、未来の社会を担う「青少年の育成」の2つを活動の柱とし、1996年にスタートした団体です。社会・世界の末端で弱い立場にいる子どもたちの支援を行うことに加え、未来の社会を担う青年たち自身が気づき変わっていく機会を提供することで、問題の根本である世界の構造を変えていくことを目指します。

今回、この両団体の「青年による活動」と、お互いの「環境問題の解決に向けた行動」と「海外における支援活動」という強みを掛け合わせ、マレーシアのサラワク州におけるツアーを開催することとなりました。

このツアーではマレーシアで進んでいる熱帯林の減少が、私たち日本人の生活と密接に結びついているという問題をスタートとしています。私たちの生活が引き起こしている熱帯林の減少を、実際に減少が進んでいる現地に行き、目と肌で感じ、そこからヒントを得て実際に日本でのアクションにつなげていくという狙いのもと、本ツアーは企画されました。

(2) 各団体の概要

【1】国際青年環境 NGO A SEED JAPAN (ア・シード・ジャパン)

(略称) ASJ (エーエスジェイ) またはアシード

(英文名称) Action for Solidarity, Equality, Environment, and Development (青年による環境と開発と協力と平等のための国際行動)

- ・所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-23
- ・ホームページ <http://www.aseed.org/>
- ・代表 草刈良允
- ・事務局長 岸田ほたる
- ・設立 1991 年 9 月
- ・事業内容 野外イベントでの環境対策事業、国際会議での政策提言、地に足つけた国内での啓発活動等
- ・会員数 896 名 (2012 年 4 月末時点)
- ・役員数 理事 8 名／監事 1 名 (2012 年 4 月末時点)
- ・職員数 2 名 (有給専従職員 2 名)
- ・財政 総収入 60,528,536 円 総支出 61,052,807 円

【2】特定非営利活動法人ケアリングフォーザフューチャーファンデーションジャパン

(通称) CFF (シーエフエフ) または CFF ジャパン

(英文名称) Caring for the Future Foundation Japan (未来のための基盤を創る)

- ・所在地 〒334-0057 埼玉県川口市大字安行原 1271 番地の 62
- (事務局) 〒170-0005 豊島区南大塚 3-45-7 ラインビル 301
- ・ホームページ <http://www.cffjapan.org/>
- ・代表理事 安部 光彦
- ・事務局長 川崎 修
- ・設立 1996 年 11 月
- ・事業内容 CFF フィリピン/CFF マレーシアの児童養護施設「子どもの家」の建設・運営支援、ワークキャンプ/スタディツアー等へのボランティア・参加者の派遣、開発教育講座の開催、イベント出展などによる啓発活動、宮城県での東日本大震災復興支援活動など
- ・会員数 296 人 (2011 年 12 月末時点)
- ・役員数 理事 12 名、監事 1 名
- ・職員数 専従職員 4 名 (うち 2 名現地駐在)、非専従職員 3 名
- ・財政 総収入 39,988,214 円 総支出 39,499,351 円 (2011 年度)

③ どんなスケジュール？ ツアー行程表

ASJ×CFF

以下のようなツアー行程を予定しています。現地の状況などにより変更する可能性もありますので、予めご了承ください。

■訪問先：マレーシア（ボルネオ島）サラワク州（クチン及びシブ）

日程	内 容	キーワード
11/1 (木)	午前： 現地集合 午後： 森林破壊や人権侵害に取り組む現地N G Oの話を聞く 泊： クチン市内	森林伐採 人権
11/2 (金)	終日： 森林伐採・プランテーション開発に 脅かされる先住民族を訪問① 泊： 先住民族の村	先住民族の暮らし
11/3 (土)	終日： 木材・パームオイル関連会社を訪問 泊： クチン市内	開発・経済・ 環境
11/4 (日)	午前： 森林伐採・プランテーション開発に 脅かされる先住民族を訪問② 午後： クチンからシブへ移動・町見学（ナイトマーケット） 泊： シブ市内	自然・共生
11/5 (月)	午前： マレーシア政府の取り組みを知る:シブコンポストセンター・ごみ捨て場見学 午後： ツアー振り返り 泊： シブ市内	ごみ問題 循環型社会
11/6 (火)	午前： 解散	

(1) クチン市

マレーシア最大面積を誇り、世界遺産グヌン・ムル国立公園に代表される神秘の熱帯雨林と、多彩な先住民族の文化に出会えるサラワク州。クチン(Kuching) は、マレーシアサラワク州の州都であり、クチン省の省都でもあります。街周辺には白人王統治時代の歴史的建造物のほか、モスク、中国寺院、博物館などが点在しています。クチンとはマレー語でネコを意味することから、市内にはネコにまつわる像や博物館、年に一度の猫まつりが開かれることでも知られています。

(2) イバン族（ボルネオ島先住民族）

イバン族の人々は古くから独自の文化を育んできました。彼らが暮らすのはロングハウスと呼ばれる長屋で、数十人もの大家族が共同で生活しています。伝統的な織物のプア・クンプや、ビーズで装飾した女性の民族衣装は、今ではサラワク州を代表する伝統工芸として高く評価されています。また、首狩り族ならではの勇壮なダンスや、男性が勇敢さを誇示するために入れるタトゥー、日本酒に良く似たトゥアと呼ばれるお酒もイバン族を象徴する文化です。クチン郊外のサラワク文化村や、ロングハウス訪問ツアーに参加すれば、このような先住民族文化の一端を肌で感じることができます。

※ツアー中は原則として“禁酒”です。ただし、訪問先でお酒を勧められるときは、文化的に歓迎の意合いが深いので、なめる程度でいただく等むやみに断らないよう工夫が必要な場合があります。サバ・サラワクの文化として、際限なく飲まされてしまうこともあるので、注意が必要です。スタッフの指示にしたがってくださいね。

▼先住民族の村での様子。声に心を傾けよう。



(3) SADIA（サディア）

サラワク州クチン市を中心に活動する NGO。現地先住民の慣習的土地の権利についての裁判（土地の「開発」を巡り、その開発中止を求める先住民族が原告となり、州政府や開発企業を訴える裁判）について、そこが先住民族の土地であることを証明するための GPS を使用した地図作りなど専門的な支援を行っています。

▼破壊される熱帯林。その影響とは・・・？



(4) 木材・パームオイル関連企業

サラワクの熱帯林で操業する木材もしくはパームオイル生産・加工を行う企業を訪問します。企業が考える森林の持続可能な経営についてなど、お話を伺います。

(5) 森林が失われている現場

企業・政府の進める開発により森林が失われている現場を訪問します。特にイバン族など先住民族が慣習的に使ってきた土地の利用転換の事例を訪問します。

※その他にも、シブのコンポストセンター・ごみ捨て場を見学したり、シブの街を散策したりも予定しています。お楽しみに！

(1) 事前準備、事後のフォローアップ（事前研修・事後研修について）

本スタディツアーには、出発前の「事前研修」と帰国後の「事後研修」があります。研修といっても誰かが一方的に教えるという堅いものではなく、参加者どうしが集まり、いろいろ話し合いながら、活動したり学んだりする機会です。

1) 「事前研修」について

出発前の事前研修では、一緒にツアーに行くメンバーとお互いを知り合ったり、またわからないことを確認・相談し合ったりスタッフにいろいろ聞いたりして、現地でのツアーに向けてさまざまな準備をします。さらに現地での学びや気づきをより実りあるものにするために、日本とマレーシアの関係やマレーシアの熱帯林で起こっている問題の背景についても、あらためて参加者みんなで学び、考えます。

◎日程：第1回：10月7日(日) 13時～17時（予定）

第2回：10月20日(土) 18時～22時（予定）

◎場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(代々木) ※詳細はお申込み後に案内をお送りします。

本ツアーへの参加に当たり、事前研修には2回とも出席できることが望ましいですが、都合が悪い方や遠方で出席できない方も、事前にこちらとやり取りをすることが可能であればツアーに参加していただけます。そのような場合は、ご相談くださいね。

2) 「事後研修」について

帰国後の事後研修では、事前研修や現地でのツアーをふまえ、問題解決へ向けて私たちができることを参加者全員で考えます。

事前研修と同様2回の実施を予定しています。日程、場所については決定次第ご連絡します。

(2) 現地での引率者について（プログラムリーダー、ディレクター）

事前研修から、現地7日間、事後研修まで継続して、“プログラムリーダー”という A SEED JAPAN および CFF のボランティアスタッフがあなたをサポートしてくれます。もし同じ飛行機に乗れば（詳細は9ページで）、一緒にマレーシアの集合場所まで行くこともできます。また、現地では経験のある A SEED JAPAN と CFF の日本人スタッフが、“ディレクター”という立場でツアー全体の安全管理やサポートをします。

不安なことやわからないことがあったら、何でもお気軽に聞いてくださいね。

●プログラム・リーダー

本多将平（ASJ ボランティアスタッフ）、長崎優美（CFF ボランティアスタッフ）

●ディレクター

岸田ほたる（ASJ 事務局長）、高梨恵子（CFF 事務局員）

(1) 安全面について

1) 治安について

マレーシア、ボルネオ島と聞いて「旅しても大丈夫？」と、不安に思う方も少なくないと思います。特に治安と衛生面については、気になるところですが、東南アジアの中では比較的安全な国だと言われています。特にクチンは、西マレーシアの主要都市（クアラルンプール、ペナン、ジョホールバル）に比べてのんびりしていて危険な場面に遭遇することはほとんどないように感じます。

とはいっても、治安が良いと言われるマレーシアでさえも、軽犯罪に関しては日本よりも犯罪率が高い、言い換えれば私たちは今なお非常に治安の良い国に暮らしている、ということです。日中でも都市部を歩く場合などはバッグや財布から目を離さない、人通りの少ない道は避ける、といった注意は必要です。

＊車は危険な運転が多く見かけられます。くれぐれも注意してください。

＊夜の単独外出は場所によってはすりやひったくりなどの危険があるので、控えて下さい。

＊病院のレベルはクチン市内であれば日本の一般的な病院と同じレベルで安心できます。海外旅行保険と提携している病院もあります。村の中には医療水準の高いクリニックはないので、くれぐれも自己管理を。

2) 感染症について

東京検疫所によると、青年世代がマレーシア・ボルネオ島に12日間渡航する際のおすすめは、以下の4つです。渡航前に1ヶ月あれば接種できます。

いずれにしろ、詳しくは、最寄りの保健所、検疫所にお問い合わせください。

●A型肝炎 食べ物より感染：2回必要 接種間隔が3週間。場合によって1回でも可。

●破傷風 傷から感染：2回必要。接種間隔が3週間。1回も可。

●日本脳炎 蚊から感染：小さい頃に打っていれば接種は大体1回。

●はしか 飛沫感染など：接種経験がなければ受けた方がいい。接種1回。

治安・感染症など、その他の安全対策についても、事前研修などで直接参加者のみなさんと顔をあわせて説明します。お申し込みの前に詳しく知りたい方は、事務局までお問い合わせください。

(2) 保険の加入について

みなさんの安全のため、各自で「海外旅行傷害保険」にかならず入っていただきます。事務局で紹介する保険会社（AIU）をご利用になることもできます。詳しくは事前研修でもご案内します。

⑦ 航空券の取得、当日集合場所について

ASJ×CFF

本ツアーでは、参加者のみなさんにより主体的に参加していただくため、また一つの経験・勉強として、航空チケットは基本的に参加者ご自身で取得していただきます。(海外が初めてで不安な方や自信のない方は、プログラム・リーダーの渡航と同じ日程のチケットをご用意下さい。成田空港から一緒に行動することが可能になります。) 18 歳未満の参加者の方は、原則としてリーダーと同日程の出国帰国とさせていただきます。わからないことがあれば事務局までお気軽にご相談くださいね。

(1) 航空券の取得について

1) 一人で自由に行きたい人 (あるいは同じ参加者どうしで自由に行きたい人)

<特徴>

- ツアー中の期間を含めれば、渡航期間を自由に組める。

(ツアー前に多少早く渡って現地に慣れておきたい人や、終了後に個人的に旅行がしたい人などには、好都合。ただし最後の事前研修前の出国は控えてください。)

- 航空会社を選択できる。(チケットの価格、サービスなど、各自の希望に応じた航空会社を選べます。)

<手配方法>

必要なもの；パスポート (マレーシア入国の段階で有効期限が最低6ヶ月以上あるもの。)

※マレーシアへの渡航の場合、91 日以上現地に滞在する人はビザが必要。

- ① 旅行代理店に問い合わせる。(氏名、連絡先、旅行スケジュール、希望の時間帯、航空会社等を伝える。)
- ② 基本的には予約がとれた場合、予約事項を明記した書類や請求書などが送られてくる。
(キャンセル待ちの状態だったら、他の代理店や航空会社をあたってみると良い。)
- ③ 請求された代金を振り込めば、予約完了。代理店から送られてきたチケットやバウチャー(予約確認書)は大切に保管し空港に持参する。E チケットの場合はプリントアウトして空港に持参する。
- ④ 出国当日、空港でチェックイン。(どのカウンターに行くかは事前に確認しておく。)

<参考情報> (以下の会社やサイトはツアー事務局とは直接関連ないものです。)

* 旅行代理店：HIS、JTB、AA トラベル、大学生協、など。

* マレーシア航空 (直行便、クアラルンプール経由便)、シンガポール航空 (シンガポール経由便)、アジアナ航空 (ソウル経由便)、ANA 全日空 (週 3 便、羽田発直行)、エアアジア (羽田発、クアラルンプール経由便：<http://www.airasia.com/jp/ja/home.page>)、キャセイパシフィック航空 (成田) など。

* インターネットサイト (格安航空券の案内サイト)

トラベルコちゃん <http://www.tour.ne.jp/>, エイビーロード <http://www.ab-road.net/tyo/> 等。

★チケットがとりにくい場合、以下のサイトをお試ください。(直接予約が可能なサイト)

Air-Point：<http://www.air-point.jp/>

Free Bird：<http://www.free-bird.co.jp/>



2) リーダーと同じ便に乗りたい人（リーダー搭乗便で行きたい人）

<特徴>

- 羽田空港集合、羽田空港解散。
- 利用する航空会社と便は指定（下記です）。
- プログラムリーダーといっしょに行けるので安心。

<手配方法>

航空会社 AirAsia(エアアジア)の下記の便のチケットをお取りください。 ※開始日1日前の夜に出国する便です...

AirAsia のホームページで <http://www.airasia.com/jp/ja/home.page>

AirAsiaのコールセンターで 0120-963-516 営業時間：午前8時-午後5時 月～金曜日

※いずれもクレジットカード決済になりますので、クレジットカードをご用意下さい。

◎出国便：2012年10月31日（水）

23:45 羽田空港発→7:00 クアラルンプール国際空港着（翌日）（D7 523便）

2012年11月1日（木）

9:45 クアラルンプール国際空港発→11:30 クチン国際空港着（AK5204便）

◎帰国便：2012年11月6日（火）

9:45 シブ国際空港発→12:15 クアラルンプール着（AK5289便）

14:40 クアラルンプール発→22:30 羽田空港着 （D7 522便）

※ チケット参考価格（7月31日現在）：約 45,000 円

出発当日（31 日夜）に、羽田空港で待ち合わせし、プログラムリーダーと一緒に現地の集合場所まで行きます。

3) チケット取得に関する注意事項

チケットが購入できない場合はプログラムに参加できません。出発時期が近づくと満席になることがありますので、なるべく早く取得してください。また安いチケットから早く埋まっていくのでいずれにしても早期のチケット取得をおすすめします。

(2) 集合場所について

本ツアーは現地集合となっています。下記の集合日時、場所を厳守して下さい。詳しくは事前研修などでもご案内します。

◎日時：11月1日（木）12時30分（リーダー搭乗便到着時間に合わせています）

◎場所：クチン国際空港 国際便到着ロビー（入国審査、荷物受け取り、税関を通過して、到着ゲートを出た先に集合して下さい。）下記空港地図参照。★の場所です。

【クチン国際空港】

【2 階到着】



【1 階到着】



★集合場所

<http://www.jal.co.jp/tabi/info/apo/asi/my.html> より抜粋

(1) 申込情報のご提出と参加費のご入金

- 1) 申込フォーム (<http://goo.gl/BGgVvk>) にアクセスし、必要事項をご入力下さい。
- 2) 申込金 5,000 円を下記口座までお振り込みください (申込金は返還できませんのでご注意ください。)

申込フォームの情報と申込金、両方が事務局に届いた段階で、受付完了となります。先着 15 名程度で締め切らせていただきますので、お申し込みは確実に、かつ、お早めに。

- 3) 出発の 2 週間前までに、残額 55,000 円と、会費 (未会員の方) をお支払い下さい。

※ツアーに参加するためには、ASJ または CFF 少なくともどちらかの団体の会員になる必要があります。それぞれの団体の趣旨などを勘案しつつ会員になってください。

※年齢が 20 歳に満たない方は、上記に加え、保護者承諾書(12 ページ)の提出が必要です。

振込先：

静岡銀行新宿支店

口座番号：普通口座 0277601

口座名：A SEED JAPAN 事務局 岸田ほたる (アシードジャパン ジムキョク キンダホテル)

(2) キャンセルについて (規定)

お申込み後、マレーシア政局の悪化等、現地側の不測の事態によりキャンプが開催できない場合には、参加費から申込金 5,000 円、振込手数料を差し引いた金額をお返しいたします。

参加者都合上のキャンセルは、キャンセル料をいただきます。

- ・キャンプ開始日から起算して 15 日以前の場合、参加費から、申込金 5,000 円、振込手数料を引いた額をお返しします。
- ・キャンプ開始日から起算して 14 日前から 3 日前のキャンセルの場合、参加費から、申込金 5,000 円、キャンセル料金 10,000 円を引いた金額、振込手数料を引いた額をお返しします。
- ・キャンプ開始 2 日前から当日キャンセルの場合、参加費から、申込金 5,000 円、キャンセル料金 20,000 円、振込手数料を引いた額をお返しします。

マレーシア [ASJ×CFF] 青年 NGO ツアー運営事務局

A SEED JAPAN 事務局内

住所：〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-23

TEL：03-5366-7484 FAX：03-3341-6030

E メール info@aseed.org

■保護者のみなさまへ

本資料をご覧いただき、ありがとうございました。参加を希望するご本人が 20 歳未満の場合、本冊子に含まれる情報・主旨を十分にご理解いただいたうえで、下記の保護者承諾書に記名・押印し、お手数ですが運営事務局（ASEEDJAPAN 事務局内）までお送りください。参加されるご本人が郵送か FAX でお送りくだされば結構です。

ご不明な点などがございましたら、運営事務局にお問い合わせください。

※ 以下を使って 1) 事前研修時の手渡し、2) FAX、3) 郵送いずれかでお送り下さい。

(FAX送信票)

マレーシア [ASJ×CFF] 青年NGOツアー運営事務局 行き

FAX番号：03-3341-6030 (24時間受付)

送信者：

保護者承諾書（20 歳未満の参加者）

■ 参加者本人氏名：

私_____は、マレーシア [ASJ×CFF] 青年 NGO ツアーの主旨を理解して、上記の者の参加を承諾します。また、万一不慮の事柄が発生した場合、主催者側の故意または重過失によるものを除き、主催者に対して一切の責任を問わないことを承諾します。

年 月 日

保護者氏名

印